

- ・コラム「答えのない超難問」
- ・お知らせ(阿波銀福祉基金助成、
県職員の皆様より)
- ・太陽と緑の会からの助成報告
- ・協力者名簿／編集後記

「答えのない超難問」

杉浦 良

1982年「そっちやない、こっちや
コミュニティケアへの道」と題するド
キュメンタリー映画が作られました。
企画伊藤方文、撮影塩瀬申幸、スチー
ル小林茂、監督・構成柳澤寿男、110
分の16ミリカラーフィルムで山路ふ
み子映画福祉賞を受賞しました。

この映画の中に、最重度から比較的
軽度と呼ばれる知的・身体・重複障
碍のメンバーたちが「空想設計図」な
るものを作るシーンがあります。バラ
バラに地域で暮らしていたメンバー
たちが、公民館に集まり内職作業を
するようになりました。ただ毎日通
える自分たちの作業所が欲しいとい
う思いが膨らみ、自分たちの作業所
作りに取り組む姿が感動的です。改
築された作業所・ポパイの家で4つ
の作業を始め、生まれて初めての
給料を、メンバーたちで配分する
という、ほんまにできるんかいな？
と疑いたくなる場面もあります。
ほとんど作業らしいことの出来
ないメンバーもいるなか、一律に
配るか、それとも作業が出来るメン
バー達だけで配るか、色々な選択
肢があります。映画では多少差は
あるものの、作業が出来ないとさ
れるメンバーにも給料が配られ
ました。



毎朝の清掃作業

地域活動支援センター・太陽と緑の会リサイクル作業所と障害者地域共同作業所・太陽と緑の会月の宮作業所では、メンバーの給料（工賃）は100円から740円（時給）までの幅があります。初めはメンバーとスタッフ合同の給料ミーティングで決めていましたが、調子が悪くて休みがちなメンバーたちには時給ミーティングの方がベターということで、今は時給にしています。最近では時給ミーティングの時間がなかなか取れないので、自己申告アピール制に形を変えました。時給を上げたいメンバーはスタッフにアピールします。「今の作業以外にこんな所もやってもらえると上がると思うけど・・・」という言葉につられて取り組み、了承されるとアップが確定。ただ余り頑張りすぎて調子を崩してはいけませんので、持続可能なペースでやるようお願いしています。作業になかなかなりにくくても時給100円は保障しています。短い時間だけどスピードも速くいろいろな作業に取り組める人、スピードはゆっくりだが自分のペースで長い時間やれる人、時間も短くスピードもゆっくりの人、なかなか作業に取り組めない人など色々です。長い時間スピードも速くいろいろな作業に取り組める人はここに来られる望みが薄い、というより一般の会社や事業所で仕事をされる必要があるでしょう（人間関係で難しいケースもあるでしょう）。

当たり前のことですが利益がなければ配分（給料）はできません。もう一度使って下さる方々がお金を支払って買って下さるから、配分が出来るわけです。水光熱費や通信費、家賃や土地代、車の維持費から保険代、建物の維持管理費、税金など、諸々の経費も捻出しなければなりません。2ヶ所の作業所に公的資金（税金）を年間970万円頂いていますが、これは全運営費の16パーセント弱です。82.5パーセントはリユース・リサイクル事業（活動）で捻出しています。イメージ的にとらえると、スタッフ（専任職員・パート職員）やメンバーの給料に公的資金が入る余地はありません。福祉的サポートをする福祉専門職員の給料は、出所（公的資金での）がないこととなります。

「国が社会福祉を保証することは、憲法に照らし合わせれば自明のこと・・・」と良く言われますが、日本の収入（税金等）で成り立つのは全体の64.7パーセント、残りの35.3パーセントは借金です（H29年度）。単純に考えれば社会保障費32.5兆円、地方交付税交付金15.5兆円、公共事業費6兆円、文教・科学振興費5.5兆円、防衛費5.1兆円ほどの予算は成り立たず、社会保障費に焦点を当てれば、どこかを削らなければ21兆円の予算でやりくりしなければなりません。別の見方をすれば、所得税、法人税、消費税、相続税、酒税、たばこ税、自動車重量税、揮発油税、関税等を35パーセント引き上げれば帳尻も合うでしょう。ただいずれにしても、これが今の日本の現況です。障害者福祉の領域もこの現実から逃れることはできないでしょう。

「他は削っても社会保障費だけは削ってはいけない・・・」とすれば「では何を削るか・・・、それとも税金を増やすか・・・」という命題が二ヨキと頭をもたげます。センター試験とは違う、正解のない最難関の試験でしょう。

お知らせ

阿波銀福祉基金様より 助成を頂きました

阿波銀福祉基金様より頂いた10万円の助成に自己資金を合わせ、シャープ製5ドア冷蔵庫を購入させて頂きました。

障害者地域共同作業所太陽と緑の会月の宮作業所で長年使用していた冷蔵庫の冷凍室が12月に入って突然冷えなくなり困っておりました。

障害者通所施設の利用者の方の昼食費に対する公費補助を廃止し昼食費を全額利用者負担とする検討案を、厚生労働省が示し問題となりました(最終的に撤回)が、太陽と緑の会月の宮作業所は昼食費補助制度の対象外であり、現在も昼食の費用は全額利用者(メンバー)が負担しています。

そのため、市民の皆様から頂いたお野菜もフル活用し、メンバー、スタッフがリーズナブルで栄養価の高い昼食づくりに毎日取り組んでいます。冷蔵庫は必要不可欠な備品で、本当に助かりました。

4年前の助成で購入させて頂いた液晶プロジェクターとスクリーンは、見学に来られた方への案内(プレゼン)でフル活用させて頂いており、先日の徳島県職員NPO研修でも活用させて頂きました。

今回頂いた冷蔵庫も大切に使用させて頂きます。本当に有難うございました。

徳島県共同募金会様より ご寄付を頂きました

徳島県共同募金会様より「平成29年度歳末たすけあい寄付金」として、地域活

動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所及び障害者地域共同作業所太陽と緑の会月の宮作業所に、それぞれ3万円ずつご寄付を頂きました。

ガステーブル、保温ポット2本、防犯カメラ(モニター・カメラ1台セット)の購入費用として活用させて頂きました。

各種助成金が年々厳しくなってきたご時世の中、本当に有難いことと申します。この場を借りてお礼申し上げます。

ふれあいフェスティバル

12月24日のクリスマスイブに、阿波市交流防災拠点施設アエルワで、第15回ふれあいフェスティバルが行われました。建って3年の真新しいホールに、県内11作業所・事業所が集まり、阿波市健康福祉部長安丸学氏の来賓挨拶の後、歌や踊り手話コーラスや演芸ショーなどを楽しみました。

立派な壇上で6名の成人式をみんなが祝福し、安丸部長さんから贈り物を手渡されること、見晴らしの良いアエルワ3階食堂でケーキ付のカレーライスとコーヒーを頂くこと、初めての経験です。

また作品販売と日頃練習した出し物を、他の作業所・事業所のメンバー達が見ることができる、貴重な催しでもあるわけです。

ともすれば自分の作業所・事業所だけの活動に陥りがちな日常に、横のウイングを広げる必要を思います。

「うちのメンバー」であることは「地域のメンバー」でもあるということ、障害者福祉の忘れがちな部分でしょう。

県職員の皆様より

10月16日、17日の2日間、当会にてNPO研修に参加して下さった8名の県職員の皆様から感想文が届きました。

以下一部をご紹介します。

「私は学生時代に…障がい者の就労施設をいくつか訪問しました。それらの多くで、障がい者の方々は、閉ざされた空間の中で単調な作業に従事しており、作業の自動化による依頼数の減少も相まって、十分な報酬が支払われておりませんでした。しかし、…太陽と緑の会では、それらの問題を克服し、順調に活動を行っていました。…ほとんどのメンバーが接客や電話対応など、コミュニケーションがある業務を任せられます。…」

「業務の内容は、物品の受け取り・回収、選別、価格の設定、値札付け、ラッピング・ディスプレイ、精算、不要品の廃棄…等々多岐にわたります。だからこそ、障害を持つメンバーの皆さんの体調に合った仕事が見つけられるのだと思いました。…スタッフの皆さんが同じことを繰り返し説明されたり、指示を忘れていたメンバーに、都度丁寧に指摘している様子、楽しく休憩する様子などを拝見し、メンバー・スタッフ間に良好な人間関係が築かれているのだと思いました。…会での作業は、食費を抑えるためや栄養管理のための自炊、様々な人と接点を持てるように接客対応、電話対応など、障害者に理解のある一部の人達の中ではなく、社会全体の中で自立できるように考えられたものであることに感心しました。時には痛い経験もありつつ、お客さんも互いに慣れつつ、社会が広がって行くと思います。…」

「…ハンディを持つ人たちにとって働くことは大変なのだ」と改めて思いました。一般企業に就職できても…中には仕事をやめることで自信をなくして苦しむ人もいます。そういった人たちにとっても、長く働くことができること、その中でたくさんの人とふれあうことができることは、難しくあっても、必要なことです。日本の財政が苦しくなり、社会保障費の節約などと言われる中で、そのような場を活動の収益を主とした資金で運営できることはすごいことだと感じました。」

「…職員の方々曰く、研修の受け入れということではいつもより張り切っていたとのことだが、私には、日常的にも生き生きと仕事をしていると思わずにはいられなかった。…ときにはサービス業に求められる「正確さ・迅速さ」といった観点から、厳しい意見が寄せられることもあるそうだが、杉浦代表理事は、それらの厳しい意見もまた必要であるとの認識を示していた。…」

「障がいを持っている方も地域で生活ができるようサポートし、リサイクル等により環境にも優しい持続的な街づくりに貢献されていると感じた。また、外国人や冬に備えて安い布団を買い求めに来る人がいるという話を聞いて、メンバーだけでなく、さまざまな人にとって住みやすい街づくりにつながっている活動であると思った。」

研修の後、何回かお買い物に来て下さった方もおられました。皆様本当に有難うございました。

太陽と緑の会からの支援(第48回)

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金(古紙1キロに対し5円、鉄屑、空き缶1キロに対し6円、ウエス1キロに対し10円、廃食油1キロに対して20円)平成28年度後期分(平成29年前期配分)28万5700円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これを各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。(敬称略)

①障害者福祉活動への助成

徳島県精神障害者家族会連合会(統合失調症、うつ病、躁うつ病などの精神疾患をもつ人を身内にかかえる家族が集まり、同じ悩みを語り合い、互いに支え合う家族会のネットワーク)5000円
共同連(差別とたたかう共同体全国連合)

(社会的事業所の法制化に向けた取り組みなど)2万4000円

地域活動支援センターあわっこ(徳島市)(賃借建物の耐震基準不適合により移転を余儀なくされたことに対する移転費用の支援として)3万円

大阪障害者労働センターマツサク3000円

②社会福祉活動への助成

NPO法人抱樸(北九州ホームレス支援機構)(ホームレス状態にある方々や生活困窮者のための自立支援)3万円

大阪釜ヶ崎出会いの家(野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動)(海苔等、物品支援の送料として)1412円

それいけすこやか倶楽部(地域周辺の高齢者の方が住み慣れた地域ですこやかに過ごせるよう支援するプロジェクト)(ハートフルゆめ基金とくしま)1000円

③国際協力活動への助成

モヨチルドレンセンターを支える会(ケニア・ストリート・チルドレンの支援活動)5万円

NPO法人TICO(徳島で国際協力を考える会)(ザンビア等における医療・農村開発活動)1万5000円

公益社団法人セカンドハンド(チャリティーショップの運営を通じたカンボジアの教育支援・医療支援活動)1万2000円

マゴソスクールを支える会(ケニア・キベラスラムにおける学校運営・教育支援活動)5000円

④その他の活動への助成

「ハートフルゆめ基金とくしま」を育成する基金1万円

NPO法人阿波の国子ども歌舞伎(「子どもの歌舞伎」の公演で子どもたちの可能性を広げ徳島県の文化振興をめざすプロジェクト)(ハートフルゆめ基金とくしま)4000円

NPO法人日本NPOセンター(NPOの社会的基盤の強化を図る活動)1万円

「小林茂の仕事」0タスケ隊(「性被害」「性虐待」を主題とする映画監督小林茂のドキュメンタリー映画「魂のきせき(仮題)」製作支援)5000円

⑤災害支援

社会福祉法人ありのまま舎(宮城県仙台市)(東日本大震災により被災された宮城県沿岸部の在宅重度難病者支援活動に対して)4万9012円

社会福祉法人くまもと障害者労働センター(熊本大地震支援として)3万円
支援金振込手数料1276円

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年2回、24年間で累計1487万1576円の助成を行ってきました。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2017年11月21日～2018年1月15日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

匿名、匿名、久次米、三好商事自動車部

(郵便振替口座)内原、鈴江、大田、豊崎、森永、野田、吉成、北岡、匿名、伊地知、大谷、瀧倉、秋山、阪野、浜田、瀧倉、堺、高坂、巻島、太田、永口、森、原、匿名、桧垣

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○尾形、杉浦、中平、北島、苜原、松井、栗林、杉本、河野、阿部、斎藤、田中、石井、佐藤、板倉、上山、久米、昭和婦人会、野々瀬、井原、佐河、山本、山田、湯浅、三木、吉田、ほっとはうす 松本、地上、百々、四方、立花、河野、旧田、楓、藤本、はっとり、村瀬、岡田、高木、河上、松村、表原、中畑、藤森、井貝、高橋、加藤、川崎、森上、島本、溝杭、松田、日下、平田、辻小島、中村、スガイ、上野、牧野、松永、住友、杉本、相原、郡、坂東、林、楠、徳永、竹園、上久保、鈴木、松、大久保、岡田、田代、追谷、岩野、丸宮、クリオ、人生たすけあい家、高島、都、迎、古川、キモト、森下、住友、堀江、森川、棚次、高岡、服部、後藤、山本、間嶋、松本、榊原、溝延○阿南市○前川、服部、原、久米、板東○阿波市○国峰、正木、大木○吉野川市○秋田、赤澤、片岡、鈴木、坂井○小松島市○町田、飛田、高木、藍谷、矢野、井内○北島町○佐川、北島町社会福祉協議会、宮本○神山町○多田、高橋○美馬市○曾我部○藍住町○野口、河野、楠木、大野、中村、前川、北島、高橋、小亀、福原、高岡、小亀○石井町○近藤、山口、山本、秋田、川野○鳴門市○阿部、渡辺○上板町○稲井○勝浦町○大久保○板野町○豊田○那賀川町○玉田○美波町○郡○埼玉県○本田○長野県○吉川○香川県○松村、富島○愛知県○松浦○東京都○瀧倉、三木○大分県○宇都宮○京都府○木村○山口県○古藤○愛知県○松浦

寒中お見舞い申し上げます
雪にはびくりましたね
今年もよろしくお願ひします

継続した活動お苦勞様
です。毎回、機関誌の巻合せ
らゆる記事が、勉強になります

いつも かわら 版 取りが たり
ございます。寒い日が続くが
皆さんの熱い思いが
あつた下りです。

良い年でありますように
お祈りしております

私の小物を集める
お送りしたいと思っております
今年もよろしくお祈りします。

陰ながらますますのご健康を
お祈り致しております。
皆様、ご自愛下さいませ

太陽と緑の会様
お世話になります
お忙しいところ 引き取りに来て
いただき、ありがとうございます
よろしくお願ひします

いつもご苦勞さまで
ほんの気持ちばかりで申訳ありません
せんが どうかお納め下さいませ

・機関紙、毎号楽しみに読んで
あります。いつもありがとうございます
でございます。

会員の皆様、お品物を提供して下さいました皆様からのメッセージ

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○山崎、福田、吉田、脇神、佐伯、鹿児島、山下、山本、西谷、阿部、生田、吉村、藤永、桜井、藤岡、岡田、山田、森田、大下、勝瀬、真鍋、小野、松崎、都郷、中野、岡本、ハタホコ、峠、応神小学校、前田、近藤、細井、八巻、杉山、佐川、森本、土井、蓑手、山王、濱口、愛郷産業、今井、田中、西川、田村、久米川歯科、植田、田村、藤田、久保田、鎌田、真鍋、山岡、豊川、久次米、谷、濱出、島田、工藤、布谷、新見、泉、田口、坂上、松本、村上、富島、山陰、福家、中川、浜、高野、佐々木、清水、渡部、盛、PL 徳島協会、高瀬、宮越、西田、海部、立川、パソQ、中河原、山本、すぎの子保育園、稲本、米本、増田、山ノ井、平野、吉川、白木、山陰、西岡、井上、土肥、中西、斎木、佐藤、トータルキッズサービス、野田、大村、大西、綾登○藍住町○秦、阿部、和泉○石井町○後藤、木村

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の皆様からご協力を頂いております。

また鹿肉やシュトーレンを差し入れて下さった柴田様、自家製のお漬物やお野菜を持って来て下さった吉田様、リンゴを送って下さった瀧倉様、吉川様、みかんを送って下さったU様、地域活動支援センターあわっこ様、大根、白菜、カブ、ほうれん草、サツマイモなどのお野菜を差し入れて下さった皆様、メッセージを添えてお品物を郵送して下さった皆様、その他の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。頂いた品物は大切に活用させて頂きます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

★★

編集後記～「地域の中で生きる」

地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所には様々なお客様が、ご家庭でご不要となった品物を持って来られたり、リユース品を買い求めに来られたりします。

小さなお子様を連れて、日用品、絵本、おもちゃを買いに来られる方、古着や昭和レトロの品物がお好きな方、和食器や洋食器を集めておられる方、徳島に越してきて家電製品や家具を買い揃えに来られる方、通学用・通勤用の自転車を探しに来られる方、いろいろな方がお越しになります。

ご自宅で介護をされている方が、1枚10円のタオルと大人用紙おむつをまとめ買いされていました。

「なんぼあっても足りんから助かるんよ」
ブラジル、ベトナム、インドネシアとい

った諸外国から日本に来られた方もお見えになります。

「友達からこのことを教えてもらいました。」「日本は物価が高いから、ここに買いに来ています」

太陽と緑の会リサイクル作業所では、様々なハンディを持ったメンバーが接客の場面にも積極的に関わっていきます。売場のご案内をしたり、お会計をしたり、買われる品物をお運びしたり、食器を新聞紙で包んだり、自転車の防犯登録をしたり、お客様からのお電話にも出たり、とできることは引き受けていきます。うまくできずにお叱りを受けることも少なくありませんが、実践を社会性の獲得につなげていきます。日本語や英語が通じない方とも、身振り手振り、オリジナルの指差し会話シート、電卓等を使って意思疎通を試みます。

転売目的で買いに来る方もいます。なるべく多くの品物がリユースにつながるよう相場価格より若干安めの価格設定にしていること、インターネットや日曜市など、個人が低コストで容易に物を売れる時代になったことも背景にあります。

毎日のように来ている方もいれば、仕事の合間に小遣い稼ぎでやっている方もいます。メンバーと顔なじみになって情報を聞き出そうとしたり、百戦錬磨のアプローチにメンバーも日々鍛えられます。

メンバーのAさんが昨夏よりアパートでの一人暮らしを始めました。不動産会社を訪ねて物件を探すことに始まり、賃貸契約の締結後、電気、ガス、水道の使用開始の手続きを行い、電子レンジ、トースター、こたつといった家電や寝具を太陽と緑の会リサイクル作業所のリユース品で揃え、スーパーやコンビニでの買い物、毎日の食事のやり繰り、水光熱費の支払い、コインランドリーでの洗濯、部屋・風呂・トイレの掃除、ゴミ出し、障害者年金の管理など、時には作業所のスタッフと相談したりサポートも受けた

りしながら、ひとつひとつ自分でクリアしていく中で、「生活者」の表情が伺えるようになってきました。通所を始めて18年。これまで作業所で培ってきたものが結実して今があります。

福祉分野では、よく「地域」「地域」と言われますが、地域社会で生きることは決していいことばかりではありません。繁華街で「金を出せ」と脅されたり、自転車に乗っていて交通事故に遭ったり、近所の人からストーカー行為を受けたり、口車に乗せられて押し保証人になったため多額の費用を請求されたり、地域生活の現実には厳しいです。病院や入所施設のような「保護・管理された空間」で人生を送る方がよほど楽じゃないか、と思う瞬間もあるかもしれません。

「それでもやっぱり地域の中で暮らしたい。」

「病院(施設)には戻りたくない」

一人一人の揺らぐ想いの傍らに「ノーマルな生活とは」「リスクのない人生とは」という難問が横たわっています。

(文責・小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

(地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所)

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

協力者名簿作成担当メンバー 岡田

ゆうメール押印・宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住 宇津

年会費：正会員 1万円(総会議決権・事業決算報告)

準会員 1,000円(機関誌発送)

郵便振替口座：01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会